

# 無所属新人・市長候補は、必ず実現します

安心・希望・緑のまち

## 1 汚職腐敗のないクリーンなまち

- 市長の関与を含め不正・腐敗の全容を解明し、市政からコネや利権の構造をなくします。
- 結論の押しつけではなく、情報公開と市民参加、対話を大切にするまちをつくりま

## 2 コロナ感染から命と暮らしをまもる緊急対策

- 医師会と連携し、迅速なワクチン接種をすすめます。正確な情報を伝え、相談を受ける窓口をつくりま
- 高齢者施設などで定期的にPCR検査を実施します。
- 医療・介護施設、コロナ禍の影響を受ける小規模事業者に対する補償・支援を行います。

## 3 ずっと住み続けたい安心と希望のまち！

- 子育て世帯へ、所得制限をなくし18歳まで医療費を無料にします。
- 避難所にもなる、すべての小中学校体育館へのエアコン設置をすすめます。
- 困窮する若者への家賃支援を行います。
- 交通空白地域をなくし、増便、市立病院直通へミニバス・ワゴンタクシーを充実させます。
- ジェンダー平等の推進、多様性の尊重、パートナシップ条例を制定します。

多摩26市トップ80億円超の公共事業費を見直し、暮らしを応援する財源10億円をつくりま

無所属新人の市長候補は、いつも明るくポジティブな人で、話すと元気になります。議員時代は、考えの違う同僚議員とも腹を割ってよく話をしたそうです。分け隔てなく人と接し、話ができる新人候補は、議会や市民と力を合わせる日野市のリーダーにピッタリです。

弁護士／山口俊樹



## さまざまな市民・弁護士・議員などが応援／

### 市民が応援

- 元市議・東豊田在住 下村 功さん
- 環境研究者 関 良基さん
- 元市議 佐瀬昭二郎さん
- 百草在住 古荘斗糸子さん
- 新井在住 中野訓枝さん
- 元人権擁護委員・新井在住 平 清太郎さん
- 元市議・会社経営 名取美佐子さん
- 大坂上在住 石井 節さん
- 大坂上在住 西川 誠さん

### 市内21人の弁護士も全力応援

- 代表／山口俊樹 | 窪田之喜 中川瑞代 平和元 山本哲子 木村真実  
伊藤克之 松尾文彦 植木則和 古田理史 ほか11名

### 議員などが応援



立憲民主党  
川田龍平  
参議院議員



立憲民主党  
武田まさひと  
稲城市議



日本共産党  
清水とし子  
元日野市議



社会民主党  
いぢち恭子  
多摩市議



新社会党  
嶋崎英治  
三鷹市議



緑の党  
グリーンズジャパン  
山本ようすけ  
立川市議

# 市民とともにつくる53の政策

～お年寄りから子どもたちまで皆様の意見をしっかりと受け止めます～

## 市政をめぐる不正・汚職の全容を解明し、腐敗を一掃します

- 1 疑惑解明はまだ途上です。引き続き疑惑を徹底解明し、コネや利権の構造を一掃します。
- 2 「情報公開」「市民参画」を徹底し、公正で規律ある財政ルールを確立します。
- 3 憲法・法に基づく行政を徹底し、職員が全体の奉仕者としてやりがいと誇りを持って働ける市役所をつくりまします。

## 緊急！コロナ対策に全力をあげ、いのちと暮らしを守ります

- 4 重症化リスクが高く、クラスターが発生しやすい高齢者施設等への頻回・定期的なPCR検査をすすめます。
- 5 医師会との連携・支援を強化し、PCR検査センター、地域の医療機関、市立病院におけるPCR検査体制の充実・強化、コロナ患者への対応・支援をすすめます。
- 6 コロナ感染、ワクチン接種に関する情報について、迅速でわかりやすい公開・提供に努めます。
- 7 コロナ・ワクチンに関する相談窓口の充実、保健師体制の強化・支援をすすめます。
- 8 日野市に保健所の復活を国や都へ強く求めます。
- 9 コロナ禍の中、困窮する若者・低所得者への家賃支援をすすめます。
- 10 コロナ禍対応で大変な商店・店舗への家賃・改装費の補助等の支援をします。

## 突出して多い公共事業費にメスを入れ、コロナ対策・暮らしを守る財源を確保します

- 11 多摩地域トップの公共事業費(80億円超)を見直し・削減します。
- 12 徹底的な情報公開と改革で公共事業の入札改革を断行します。
- 13 新たなハコモノ・8.8億円の第二庁舎建設計画は凍結し、市民参加で再検討します。
- 14 以上の改革をすすめて、コロナ対策・暮らしを応援する財源10億円以上をつくりまします。

## ずっと住み続けたい 市民だれもが安心して暮らせるまちをめざします

- 15 ミニバス・ワゴンタクシーの充実で、どの地域にも住み続けられるよう公共の足を確保します。
- 16 安心して介護サービスが利用できるように、介護費用の負担軽減、特別養護老人ホームなどの介護施設の整備をすすめます。
- 17 「ともに生きるまち」日野の実現へ向け、障害者差別解消推進条例に基づくまちづくりをすすめます。
- 18 市役所における障害者雇用を増やします。
- 19 日野市内事業所等での障害者雇用を促進するための支援制度を検証・改善します。
- 20 点字図書、録音図書を充実させます。
- 21 外国人のための日本語サポート体制を整えていきます。
- 22 行政サービスにおける更なる多言語化に対応します。
- 23 市民の命を守る砦として、日野市立病院を守り・充実させます。

## 子ども・若者の未来を育むまちをめざします

- 24 待機児童解消へ保育園・学童クラブの拡大・充実を図ります。
- 25 子ども家庭支援センターを含め、子どもの命と育ちを支える職員の増員・処遇改善に努めます。
- 26 どの子ども大切にされ、学び成長できるように、教職員体制はじめとした教育環境の充実をすすめます。
- 27 子どもたちの読解力、問題解決能力を重視しながら、パソコンやインターネットを利用したICT教育をすすめます。

- 28 すべての小中学校の学校図書館への司書配置をめざします。
- 29 避難所にもなるすべての小中学校体育館へのエアコン設置を早急にすすめます。
- 30 早急にすべての小中学校のトイレの洋式化をすすめます。
- 31 所得制限をなくし18歳まで医療費を無料にします。
- 32 若者が真の主権者に育つために学校における主権者教育に取り組みます。
- 33 いじめを根絶し、差別をなくすためにいじめ予防授業等を実施します。
- 34 若者が安心して希望を持って暮らせる日野へ、「若者会議」を設置します。
- 35 各種審議会、協議会等へも若者の参加を促し、若者の声を反映したまちづくりをめざします。

## 「緑と清流のまち」を再生し、災害に強いまちづくりをすすめます

- 36 乱開発・大型開発から緑と清流を守るために、実効性を持った改定まちづくり条例づくりをすすめます。
- 37 農地や緑地、用水を保全するための施策を、市民参加ですすめます。
- 38 ごみゼロ社会へ向け、脱焼却・脱埋め立てを土台に、市民参加・情報公開の徹底で、ゴミ対策をすすめます。
- 39 丘陵地における土砂災害防止、浅川における河川・内水氾濫防止のための対策を周辺自治体と連携して国や都に強力に求めるとともに、市として必要な対策を検討・具体化します。
- 40 災害時の情報発信(災害アプリを含む)・避難ルート・障害者などへの支援計画を再検討・改善します。
- 41 ジェンダー、パートナーシップ、バリアフリーなどの観点から避難所の環境改善をすすめます。
- 42 プラスチックゴミの減量をすすめます。
- 43 公共施設の電力を順次再生エネルギーへと転換していきます。

## 農・商・工など地域産業を支援し、活気と潤いのあるまちをめざします

- 44 地域コミュニティの核として商店街を位置付け、再生・活性化へ支援をすすめます。
- 45 学校給食へ提供農家への支援充実、体験型農園や直売所への様々な支援を行い、営農支援・農あるまちづくりをすすめます。
- 46 働く意欲のある若者と後継者に悩む地域産業のマッチングを行い、就労支援、事業承継につなげます。
- 47 農・商・工など地域産業で起業・就業したいとの意欲を持った方への支援をすすめます。

## ジェンダー平等、「市民が主人公」の自治のまち日野をめざします

- 48 働きやすい市役所づくりをすすめて、女性副市長の登用をはじめ、女性管理職5割を目指します。
- 49 各種審議会、協議会等の女性枠を作り、女性の意見を反映させます。
- 50 パートナーシップ条例を制定し、性的マイノリティへの理解・啓発に努めるとともに、施策への具体化をすすめます。
- 51 公文書管理の電子化をすすめて、情報開示を容易にするなど、市民の知る権利にこたえます。
- 52 市民、企業、学校、各種団体と連携し、持続可能なまちづくり(SDGs)への取り組みを強めます。
- 53 自治基本条例を制定し、情報公開・市民参画の徹底で、市民が主役のまちづくりをすすめます。
- 54 北川原公園内ごみ搬入路整備に対する違法判決を正面から受け止め、総合公園としての全面的な整備、公園外でのごみ搬入路の確保し、「30年以内の撤退」を「環境保全協定」に明記し、次期処理場確保の3市間基本合意を目指します。
- 55 オスプレイの騒音・危険な飛行実態から市民の命を守るために、横田基地周辺の5市1町と連携し、国や東京都へ働きかけます。

現市長は「私が解決する」「関わっていない」「フェイクだ」と言っていますが…。

# 事実をごらんください！

## 日当6万円のヤミ手当問題

「私が解決する」どころか、議会に隠し続けたうえ、すでに昨年秋に解明を打ち切りました

現市長は日当6万円のヤミ手当について把握しながら、議会には隠し続けました。そのうえ、昨年10月、市は調査結果を発表し、解明は打ち切りとなりました。

「決定権限のある者のいずれかが決定に関与したことは確かなことであると言えるが、決定過程の詳細は明らかとならなかった」「これらの状況を踏まえると、専決権限を与えられた個々の職員の具体的責任を問うことは妥当ではなく…」(令和2年10月・日野市調査結果報告書)とし市長等の減給3ヶ月の処分解明を打ち切りました。

## 保育園民営化の補助金問題

「市長は関係ない」どころか、元副市長がとり仕切っていた密室のプロジェクト会議に参加していました

補助金不透明に膨れあがった「たかはた保育園」の民営化事業を、元副市長がプロジェクトチームをつくって推進。現市長も当時、まちづくり部長として関与していたことが、この間、入手した資料で発覚しました。現市長は、「関係ない」どころか、深く関与していました。

平成24年11月16日に水面下で開かれていた元副市長・業者・市職員らによるプロジェクトチーム会議資料より

